

報道機関各位

大風の大きさは
畳8枚分！

長岡市中之島支所地域振興・市民生活課長



長岡市

県指定無形民俗文化財「見附今町・長岡中之島大風合戦」をPR アオーレ長岡に大風を展示します

6月6日（土）～8日（月）に開催する「見附今町・長岡中之島大風合戦」をPRするため、アオーレ長岡に大風を展示します。360年以上の歴史を誇る伝統の大風合戦の迫力を間近で感じることができます。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、広く周知にご協力いただくとともに、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

アオーレ長岡 大風展示

- 1 場 所 アオーレ長岡ナカドマ、ホワイエ（長岡市大手通1-4-10）
- 2 期 間 5月14日（木）～6月15日（月）
- 3 展 示 数 ナカドマ…六角大風2枚（風が揚がっている様子をイメージ）
ホワイエ…六角大風2枚（大きさを間近で体感できます。） 計4枚
※大風1枚の大きさは、縦4.32m、横3.32m
- 4 設置日時 5月13日（水）午後6時～9時予定
※ホワイエ内は午後3時30分から



【昨年の展示の様子】

【見附今町・長岡中之島大風合戦の由来】

長岡市中之島地区と見附市今町地区の大風合戦は、刈谷田川の両岸から揚げたお互いの風を空中で絡めあい、どちらかの糸が切れるまで引き合っ、勝敗を決する。

360年ほど前、信濃の紙商人が端午の節句に当地に立ち寄った時に、刈谷田川堤防上で大風を作って揚げたのが始まり。現在の形態になったのは、江戸時代の天明年間（1780年代）の刈谷田川改修時、堤防を踏み固めるために行われてからといわれている。

さまざまな絵柄や色彩を用いた大風が大空高く舞い上がる光景は、壮かつ優美である。

「越後の風合戦習俗」の一つとして新潟県無形民俗文化財に指定されている。（指定日：平成27年3月24日）

問い合わせ：中之島支所地域振興・市民生活課 坂田

TEL 0258-61-2013